

商务师业务外语:えやすい日本あ行 PDF转换可能丢失图片或格式, 建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/467/2021_2022__E5_95_86_E5_8A_A1_E5_B8_88_E4_c67_467355.htm 「あ行」 「」 想をふりまく 「正」 をふりまく 「」 合槌 (あいづち) を打つ 「正」 相槌を打つ 「相槌」 は向き合った治のと弟子が交互に槌を打ち合ったことからきた言. 「」 (あく) どい 「正」 あくどい 「」 をかしげる 「正」 首をかしげる 「」 後へも先へも引けぬ 「正」 後へも先へも行けぬ 「」 (あり) の入りむ隙 (すき) もない 「正」 のはい出る隙もない 「」 怒り心にする 「正」 怒り心にする 「心」とは、「心の中」。「」 息咳切って 「正」 息急き切って 「」 池の中の蛙 (かわず) 「正」 井の中の蛙 「」 一段落 (ひとだんらく) つく 「正」 一段落 (いちだんらく) つく 「」 一同に会す 「正」 一堂に会す 「」 一早く 「正」 いち早く (逸早く) 「」 一矢 (いちや) をいる 「正」 一矢 (いっし) をいる 「」 一托生 (いちれんたくしょう) 「正」 一托生 同じ心で念を唱えれば、同じ (はす) の上に生まれわる、という教の教え。「」 いづれは 「正」 いづれは 「」 一部の隙 (すき) もない 「正」 一分の隙もない 「」 一身同体 「正」 一心同体 「」 一睡の 「正」 一炊 (いっすい) の粟を炊いているほんの短い。「」 一等地 (いっとうち) をく 「正」 一地をく 「」 (いはつ) をぐ 「正」 衣をぐ 「」 今だに 「正」 未だに 「」 嫌が上にも / 否が上にも 「正」 いや (弥) が上にもいよいよ、ますますの意味。「」 嫌 (いやけ) がする 「正」 嫌が差す 「」 和感 「正」 和感 「」 印 (い

んろう)を渡す「正」引(いんどう)を渡す「」有(うい)の土「正」有(ゆうい)の土「才能のある人」のこと。「」上へ下への大き「正」上を下への大き「」薄皮をはぐように回す。「正」薄をはぐように回す。「」嘘ぶく「正」(うそぶ)く「」有点「正」有天「」うなづく「正」うなづく「」迂余曲折(うよきょくせつ)「正」余曲折「」寂しい(うらさびしい)「正」心寂しい(うらさびしい)「」恨み骨にした「正」恨み骨に(てっ)した「」上前をかすめる「正」上前をはねる「」笑がこぼれる「正」笑みがこぼれるがこぼれたら大。「」お想してください「正」お勘定してください「おあいそ」は店が言う。「」置いてきぼり「正」置いてけぼり由来は、江本所の堀でったを、幽が「置いてけ、置いてけ」と言ったというもの。「置いてき」では西なまりとなってしまう。「」大(おおみえ)を切る「正」大得を切る「得」はもともと歌舞伎などの大事な面で役者がせる大げさな表情やしぐさ。「」屋上屋を重ねる「正」屋上屋を架す「」れを取る「正」後れを取る「」押し着せ「正」お(御)仕着(しき)せ「」押しも押されぬ「正」押しも押されもせぬ/押すに押されぬだれからも力をめられ、ゆるぎない地位をしめていること。「」名を晴らす「正」名をすすぐ「」名を挽回する「正」名を返上する「名挽回」では、名を取りすことになってしまう。「」思いもつかない「正」思いも寄らない「」不幸「正」不孝「」恩を着せる「正」恩に着せる 100Test 下载频道开通, 各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com